

第11回 DOGGYM Shake! Dog Dance Competition 概要

- ◆ 日 時 : 2018年 4月 29日 (日)
- ◆ 会 場 : 平畑運動公園 (奈良県吉野郡大淀町桧垣本 2090 番地)
<http://waka77.fc2web.com/studium/27Nara/09hirahata.htm>
- ◆ 競技開始時間 : 9時~16時 (参加頭数により開始及び終了時間は変動あり)
- ◆ 受付開始時間 : 8時~ 8時30分 (参加頭数により変動あり)
※受付時間内に来られなかったペアは出場できませんので、あらかじめご了承ください。
- ◆ 申込開始日 : 2018年 3月 24日 (土)
- ◆ 申込締切日 : 2018年 4月 14日 (土)
- ◆ 申込方法 : HPよりエントリー用紙を印刷の上、FAXまたは各トレーナーに手渡しください。
※GYM非会員であっても出場可能です。一般参加も受け付けておりますので、お気軽にエントリーください。
- ◆ 演技スペース : 24m×20m
- ◆ 注意事項 : 全クラス、モチベーター (おもちゃ、おやつ等) の使用は可能です。ただし、落とした場合は必ず拾うなどして、次のペアの妨害とならないように配慮すること。
※詳細は規定書を参照してください。

競技開催クラス	スタークラス Shake会員 : 4,000円 — 一般 : 5,000円	競技会への出場が2回未満のペアが対象となるクラス。 リード付き可。 ルーティンタイム : 1分30秒~3分
	ノービスクラス Shake会員 : 4,500円 — 一般 : 5,500円	競技会への出場が2回以上のペアが対象となるクラス。 すべてノーリードでの演技 ルーティンタイム : 2分~4分
	アドバンスクラス Shake会員 : 4,500円 — 一般 : 5,500円	当競技会のノービスクラスにて累計10ポイント以上を獲得したペアが対象となる。 ルーティンタイム : 2分~4分
	シニアクラス Shake会員 : 3,000円 — 一般 : 4,000円	犬が8歳以上、またはハンドラーが65歳以上の方が対象のクラス すべてノーリードでの演技 ルーティンタイム : 1分30秒~3分

競技会事務局 : DOGGYM Shake!
 住 所 : 大阪府大阪狭山市大野東 2069-4 (〒589-0014)
 TEL/FAX : 072-349-4007
 H P : www.doggym-shake.net



◆ DOGGYM Shake! Dog Dance Competition 規定書 ◆

- ◆ 出場資格：生後6ヶ月以上の犬。
発情犬は出場不可。

◆ 開催クラス：

スタータークラス	競技会への出場が2回未満のペアが対象となるクラス。リード付き可。
ノービスクラス	競技会への出場が2回以上のペアが対象となるクラス。すべてノーリードでの演技。
アドバンスクラス	当競技会のノービスクラスにて累計10ポイント以上を獲得したペアが対象となる。すべてノーリードでの演技。 ※今回は採用しません。
シニアクラス	犬が8歳以上、またはハンドラーが65歳以上の方が対象のクラス。すべてノーリードでの演技。
プロフェッショナルクラス	プロトレーナーとして活動している方が対象のクラス。すべてノーリードでの演技。

- 全クラス、モチベーター（おもちゃ、おやつ等）の使用は可能です。ただし、落とした場合は、必ず拾うなどして、次のペアの妨害とならないように配慮すること。
- クラス昇格制度について
ノービスクラスにて、入賞したペアにはポイントが付与される。
1位 8P 2位 5P 3位 4P 4位 3P 5位 2P
累計10P以上獲得すれば、次回からはアドバンスクラスへの昇格を認める。
参加人数により、入賞者は増減することを、あらかじめご了承ください。

◆ ルーティンタイム

スタータークラス	1分30秒～2分
ノービスクラス	2分～3分
アドバンスクラス	2分～3分
シニアクラス	1分30秒～2分
プロフェッショナルクラス	2分～3分30秒

- ルーティンの時間は最短マイナス10秒、最長プラス10秒までは時間有効とする。
- 審査は犬、またはハンドラーが動き出した瞬間から始まる。
- 余裕の時間を差し引いても短いルーティンは失格とする。

◆ 演技スペース：24m×20m

●最低使用パーセントは規定しないが、スペースを十分に使って演技を行うほうが高く評価される。

◆ 審査基準

■ Routine Accuracy (構成) (20点)

トリックの完成度	1～5
ルーティンの完成度	1～5
演技スペースの有効性	1～5
トリックの難易度	1～5

■ Interpretation (演出) (20点)

表現力・独自性	1～5
リズム・ハンドラーの表情、姿勢	1～5
ハンドラーと犬との一体感	1～5
ハンドラーの衣装	1～5

●減点について

※噛みつき、吠えなどの行為

※人が犬を不必要に触る、首輪をつかむなどの行為

※演技スペースからの逸脱

●失格について

※演技スペースでの排泄行為

※演技時間の50%以上、犬が逸脱した場合

◆ 注意事項・禁止事項 ◆

※犬の身体構造から、負担となる動きを過度に採用しないこと。たとえば、身体を捻るジャンプや2足歩行など
※小道具の使用、及び数の制限はないが、テーマから逸脱しないことと、1分以内に競技者が自分で設置、撤去できる範囲とする。

※犬は洋服や装飾品（首輪、バンダナなど）の着用も構わないが、テーマに添っていること。

※チョークチェーン、スパイクカラー等の使用は不可。

※ハンドラーは衣装着用すること。

※審査結果に関して、競技終了後の異議申し立ては不可。

※競技において、総合点が同じ場合は、**構成点**が高いほうが勝者となる。

※競技終了後、会場にて得点を掲示する。

規定の補足

規定されていない事項について、問題が生じた場合、ジャッジ及び競技会事務局の判断で決定します。

